

みんなちがって、みんないい!

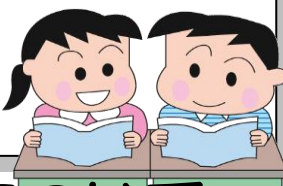
校長 吉見 一弥



学校便り今月号(表面参照)で紹介しましたように、本通信のタイトルは、金子みずぶさんの「わたしと小鳥とすずと」の一節「みんなちがって、みんないい」に由来しています。

人は、それぞれ、顔つきや体つき、性格が違うように、得意なことや苦手なことも違います。運動が得意な子・苦手な子、絵が得意な子・苦手な子、歌が得意な子・苦手な子、誰にも得意・不得意があります。それは個性です。生活面や学習面で課題や困難を抱えていたとしたら、それも一つの個性です。この世の中に、同じ人間、同じ個性はありません。違うからこそ、誰もがかけがえのない大切な存在。それが、「みんなちがって みんないい」です。

そして、生活面や学習面で課題や困難さ「困っている子どもたち」に対し、学校としてできる限りの支援を行っていくこと、それが特別支援教育です。



通山小学校の特別支援教育体制について

家庭との教育相談で、何らかの支援が必要だと判断した場合、対象のお子さんにあった支援方法を保護者と一緒に考えていくことになります。

現在、学校として行っている支援体制は以下のとおりです。学校は、お子さんの教育的ニーズ(学習面や生活面における課題や困難さ)を考慮して、さまざまな支援方法を提案します。学校と家庭が真剣に話し合い、「その子にとって最も効果的な支援方法」を見つけてあげることが大切です。また、学校だけの判断で進めることはありません。あくまでも、お子さんの希望や家庭の考えを尊重しながら進めていきますのでご安心ください。

支援の形態	支援者	場所	支援の方法
担任の支援	担任	学級	○ 担任が一斉指導の中で支援を工夫することで対応する。(教材・教具の工夫, 児童に応じた課題の提示)
複数による支援	担任, 特別支援教育支援員, 管理職等	学級	○ 授業において, 二人以上の「体制(担任と支援者)で支援を進める。 ○ 支援者は, 対象児童を中心に声をかけたり説明の補助をしたりする。(対象児童だけでなく, 周囲の児童も含む。)
特別支援学級での個別支援	特別支援学級担任	特別支援学級	○ 児童の実態(教育的ニーズ)に応じた特別の教育課程(カリキュラム)にそって個別の学習を行う。 ○ 特別支援学級での学習だけでなく, 教科によっては同学年の交流学級で学習することも多い。

いつでもご相談ください!

特別支援教育は、支援する時期が早ければ早いほど「よい」と言われています。

お子さんの学習面や生活面、行動面等で心配なことがおありでしたら、どうぞ、遠慮なくご相談ください。お子さんが抱える課題の状況、ご家庭の考えを踏まえ、お子さんにあった支援方法(学級内での配慮、複数による支援、個別の支援、特別支援学級での指導)等を担任や特別支援教育コーディネーターと一緒に考えていきます。



勇気付けられた言葉

今から10年以上も前、私が北薩地区の小学校に教頭として勤務していた時のことです。

当時のPTA会長、Kさんの子どもさんは特別支援学級に在籍していました。そのため、Kさんは、特別支援教育の広報マンとして、家庭・地域への啓発に積極的に取り組んでくださいました。

子どもさんの卒業式の際には、PTA会長あいさつの中で、涙を流しながら特別支援学級への感謝の言葉を述べられ、式場が大きな感動に包まれました。以前も紹介しましたが、今回、改めて紹介いたします。

〇〇小学校における特別支援学級に対しまして、保護者の一人としてお礼を申し上げます。〇〇市、学校、地域、他諸関係機関のご協力により、この学校にも特別支援学級を作っていただきました。今、子どもがこの学級で過ごすことができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

この地で生まれ、この地で育った子ども。生まれ出ずる命の尊さに変わりはなく、親の子に対する思いはいずれも同じです。あえて〇〇小にこだわり、「周りのそのままの目でいいですから、この子を見てください」という思いで今日に至っております。

本気で叱り、正面からぶつかってくださる先生にも恵まれ、また、時に危ない場を救ってくださった地域の方もおります。今後も周りの方々に支えられながら一歩踏み出す勇気をもって、事に当たっていければと思います。

みなさんと一緒に、この日を迎えられることを何よりもうれしく思います。ありがとうございました。
(一部抜粋)

当時は、特別支援教育が始まってまだ間もなく、特別支援学級に対しての偏見や差別がまだ根深く残っていました。しかし、Kさんは、「我が子をありのままに見て欲しい」という思いで、常に前向きに啓発活動に取り組んでくださったので、学校も勇気付けられて特別支援教育に積極的に取り組むことができました。

通山小学校においても、「全ては子どもの成長のために!」という視点で、保護者・地域の皆様とともに、特別支援教育を積極的に推進してまいります。

